

Roots and Routes: 土木工学の未来を共に切り拓く

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2026年08月24日 ～2026年09月02日	タイ	カセサート大学	・土木工学課程都市・環境コース、土木工学科 ・学部1年生、学部2年生、学部4年生	(芝浦工業大学) 学生29名、TA(学生バイト)4名、教員1名 (カセサート大学) 学生約60名、教員4名	稲積 真敏(土木工学課程都市・環境コース)



図1 カセサート大学(バンコクキャンパス)での集合写真

2026年8月24日から9月1日にかけて、タイ・バンコクのカセサート大学(KU)工学部土木工学科において、「Roots and Routes: Shaping the Future of Civil Engineering Together(ルーツとルート: 土木工学の未来を共に切り拓く)」をテーマとするグローバルPBL(gPBL-Thailand-2026)が開催された。本学(SIT)からは土木工学課程都市・環境コースを中心に学部生29名、TA(学部4年生)4名、教員1名の計34名が参加し、カセサート大学からは約60名の学生が参加した。両大学の学生は8つの日タイ混成グループに編成され、期間を通じて協働した。

8月25日の開会式では、KU工学部長のProf. Wanchai Yodsudjaiによる開会挨拶、土木工学科長のAssoc. Prof. Dr. Suphawut Malaikrisanachaleeによる歓迎の辞に続き、稲積真哉教授(SIT)とProf. Supakij Nontananandh(KU)によるワークショップおよび研究テーマの紹介、Asst. Prof. Dr. Susit Chaiprakaikeow(KU)によるプログラムオリエンテーションが行われた。翌26日には、タイ運輸省道路局(Department of Highways)およびレストビレッジ運営者による特別講演「Construction of the Rest Village Sri-racha M7」、ならびにSeafco Public Company LimitedのDr. Thayanan Boonyaraklによる特別講演「Bore-pile Construction at Bangkok Mall Project」が実施され、タイにおける大規模インフラ整備の計画・設計・施工の最前線に触れる機会が提供された。

講演内容と連動した現場見学として、27日にはバンコク最大級の複合開発プロジェクトであるバンコクモール建設現場を訪問し、場所打ち杭工事を中心とした大深度基礎工事を見学した。28日には高速道路7号線(モーターウェイ)KM93地点に建設中のシラチャM7レストビレッジを訪問し、高速道路休憩施設の建設現場を視察した。その後チョンブリ県パタヤに移動し、29日には学生の交流活動と並行して、KU・SIT教員間で今後の連携に関する協議が行われた。

グループ活動では、講演および現場見学で得た知見をもとに、土木工学の「ルーツ(基礎・伝統)」と「ルート(将来への道筋)」という観点から、地盤・基礎工学、構造工学、交通インフラ、建設マネジメント等に関する課題について討議を重ねた。9月1日の最終発表会では各グループが成果を発表し、修了証の授与および優秀グループの表彰が行われた後、両大学教員による閉会式をもってプログラムを終了した。

本プログラムは、実務者による講演と実際の建設現場の見学を組み合わせ、それを異文化混成チームでの協働に結びつける構成をとった点に特色がある。学生は英語によるコミュニケーション能力、多様な視点を統合する力、専門知識を実社会の課題に適用する実践力を養うとともに、国際的な視野を広げる貴重な機会を得た。



図2 開会式の様子



図3 特別講演の様子



図4 グループ活動の様子



図5 バンコクモール建設現場の見学



図6 シラチャM7レストビレッジ建設現場の見学



図7 最終発表会・表彰式の様子